

令和6年4月22日

保護者の皆様へ

都城市立祝吉小学校
校長 後藤世志哉

□■□■ 通知票発行回数の変更について □■□■

児童も新しい学級・先生に慣れ、授業中は、元気のよい声が校内に飛び交っています。

さて、祝吉小学校では、過去、学期毎に、年間3回の通知票を発行してきましたが、本年度より、通知票の発行回数を下記のように、年「2回」とすることになりました。(本件は、昨年度末に、学校運営協議会を経て、職員会で決定されています。)

通知票の年2回発行への変更は、3学期制をとる県内各地の学校でも、広がりつつあり、延岡市・日向市は数年前から全小中学校が一斉に、本年度は、三股町内全小中学校、椎葉村立全小中学校も、2回制へ移行します。数年間2回制を実施した学校からは、2回制に変更したことによる、大きな成果が伝わってきています。

都城市では、2年前から市教委と校長会が協議を重ね、中学校ブロックでの共通理解を下に、本年度、数校が先進的に、2回制を導入します。ちなみに、祝吉中・川東小では、本年度は、1学期を「評定のみ」とすることとして、評価（言葉による評価）を書かないという形に変更し、その後、2回制への変更を協議していくことになっています。

通知票発行が2回制になると、子どもの様子をお伝えする機会が減りますが、そこを補うために、1学期に個人面談を設け、家庭との連携に支障がないように配慮しました。

なお、2回制になることで、1・2学期末の授業カットが大きく減少し、「授業が最後までていねいにできる」ことや、1・2学期末の担任に余裕が生まれ、「子どもと向かい合う時間が増加する」などのメリットが出てくることを報告させていただきます。

各担任は、日々、よりよい授業づくりのために、努力しています。

子どもたちも、先生を信じて、日々、元気に頑張っています。

よりよい学校経営のために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

記

1 通知票発行日

- ① 前期：10月中旬（本年度は、10月11日「金」）
- ② 後期：3月修了の日

2 理由

- 1・2学期末の教師の慌ただしさ、授業カットによる授業時数の減少を防ぎ、学期末に落ち着いて授業・児童との触れ合いに臨み、学力向上と子ども理解が可能となる。
- 長いスパンで子どもの姿を見つめ、より深く正確に子どもの実態を保護者に伝えることができる。

3 その他

- 1学期に全保護者との面談を設定し、夏休みにも希望者との面談を実施することで、保護者との連携が深まるように配慮する。